



北村 征男 議員

地域農業を守る為の 取り組み

農地・水保全管理支払 交付金事業は

【問】共同活動組織、向上活動組織は何団体か。

【答】共同活動組織は64団体、向上活動組織は63団体だ。

【問】高山市の24年度当初予算は5162万円だ。事業費は全体でいくらか。

【答】全体事業費で2億143万円を予定している。

【問】計画地の道路は市道の為、この事業は使えない。市道としての新設舗装対応は出来るのか。

【答】舗装の必要性が高いと判断出来れば、整備は可能である。

【問】何とかこの事業を組み込めないのか市長に伺う。

対応を実施している。

消防団員減への対応

【問】家族も含めての優遇(温泉・宿泊・食事・販売・娯楽等)もあるがこの制度の利用度はどうなのか。

【答】現在、43事業所に登録いただいている。利用度調査を実施し把握したい。

【問】市職員採用時に入団を勧められないか。

【答】新規採用職員の研修時に消防団活動の大切さを説明していく。

常備消防11名体制での 災害等は

【問】救急・火災等災害が重複した場合、11名体制で出動出来るのか。

【答】車両動態管理システムにより出動させている。災害に応じて非番職員への招集や他の分署、出張所への非番招集と本署からの車両と併せ災害重複への



消防技術を競う操法大会



溝端 甚一郎 議員

武道が 人間形成の場に

美しいまちづくり

【問】桜の植樹は。

【答】公園やまちなかの空間を活用した植樹や、街路樹を整備することで緑化を推進している。

コバノミツバツツジは市の花であることを啓発して、植樹をさらに推進していく。

鳥獣の被害

【問】イノシシの対策は。

【答】鳥獣被害専門のアドバイザーを招いて、年に2〜3回研修会を開催している。

【問】サルの対策は。

【答】サルへの発信器の取り付けは、地域ぐるみの取り組みがないと効果が上がらないので今後研究したい。

武道の必修化

【問】教育長の考えは。

【答】武道の必修の背景を改めて考えてみると「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」を実現することにおいても有効である。

武道は、武技、武術から派生した我が国固有の文化。人間が文字通り一対一で対峙し、ともに相手の動きに応じて、基本動作や基本となる技を身に付け、攻撃したり相手の技を防御したりすることによって、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことのできる運動。

しかし、相撲、柔道、剣道ともに礼に代表される精神性の高さが求められる。究極には道をきわめた人間の姿にその大いなる価値を見いだす。剣道では、弓道と同様に残身が重要視される。

中学校における指導で、全ての生徒に、こうした境地まで求めることは不可能としても、楽しさや喜びを味わうべく勝敗を競うとはいえ、礼を重んじて、技を磨き、力量を高め、相手を敬い、慢心を戒め、己を律する強い心を養うことを大いなる目標とすることの本質を見定めて指導にあたって欲しいと考えている。

